

第6学年 体育科学習指導案

日 時 平成22年10月7日(木)5校時
場 所 盛岡市立北厨川小学校体育館
児 童 6年3組(男15名女13名計28名)
指導者 有馬 賢(6年3組担任 真壁岳夫教諭)

1. 単元名 ステップアップ! 集団マット (B 器械運動 ア マット運動)

2. 目標

[関心・意欲・態度]

・安全に気を配ったり、分担された役割を果たしたりして運動を楽しもうとする。また、約束を守ったり、友達と助け合ったりしながら進んで運動に取り組もうとする。

[思考・判断]

・グループでの学び合いを通して自分の課題をつかみ、練習の場や段階を選んだり技を組み合わせていたりしている。

[技能]

・基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。

3. 単元について

(1) 教材について

「器械運動」は、器械・器具を使った「技」に取り組んだり、それを達成したりしたときに楽しさや喜びを味わうことができる運動領域である。また、より困難な条件の下でできるようになったり、より雄大で美しい動きができるようになったりする楽しさや喜びがある。

マット運動は、回転する技や倒立する技の中から自己の能力に適した技に易しい条件の下で新たに取り組んだり、それらの技がある程度正確にできるようにしたりするとともに、同じ技を繰り返したり、技を組み合わせる楽しむことができる運動である。

(2) 児童の実態について

体育の学習に意欲を持って取り組む児童が多い。男女共に運動能力が高い児童が数名おり、今年度の陸上記録会や水泳記録会で活躍した。一方、全体的に運動能力があまり高くなく、体育に対して苦手意識を持っている児童が男女共に数名いる。

1学期の鉄棒運動では、1名の児童が逆さになることや前まわり下りを怖がりできなかったが補助をしながらくり返し練習することで自分の力でできるようになった。

2学期の跳び箱運動では、跳び箱の段の高低差はあるものの学級の全員が台上前転をできるようになった。大きな台上前転では、グループでの学び合いを通して、学級の半数が膝を伸ばした姿勢で着手し、台上で回転して着地することができた。

(3) 指導について

本単元では、回転技と倒立技、その技の組み合わせができるような指導を行う。単元最後に位置付けたクライマックスイベントとしての「集団マット」に向けて学習を進めていく。指導の際は、集団マットの練習をするという学習イメージではなく、集団マットをするために一つ一つの技の課題を明確にして、練習の場や段階を選ばせたり、必要に応じて技のポイントを考えさせ理解を深めさせたりする。また、基礎的な感覚や基本的な動きづくりをするために、単元を通して準備運動で「マットセットメニュー」を取り入れていく。マットセットメニューでは、①バツタ跳び、②手押し車、③うさぎの足打ち、④川跳び、⑤逆さだんご虫の5つの基礎的な感覚づくり・基本的な動きづくりをする易しい運動を順序に安全面に配慮しながら行わせる。また単元を通して、できたところまでの技をグループでシンクロさせたり、組み合わせたりする意識をもたせることで、友達と合わせて演技をする楽しさ・喜びを味わわせたい。そして、集団マットの発表会へのモチベーションを高めていきながら自分の課題を解決できるようにしていきたい。

【研究との関わり】

研究内容

(1) 教材および単元計画の工夫・改善

基礎的な感覚や基本的な動きづくりをするために、単元を通して準備運動で「マットセットメニュー」を取り入れていく。マットセットメニューでは、①バツタ跳び、②手押し車、③うさぎの足打ち、④川跳び、⑤逆さだんご虫の5つの基礎的な感覚づくり・基本的な動きづくりをする易しい運動を順序に安全面に配慮しながら行わせる。また単元を通して、できたところまでの技をグループでシンクロさせたり、組み合わせたりする意識を持たせることで、友達と合わせて演技をする楽しさ・喜びを味わわせたい。

(2) 運動技能ポイントのつかませ方・活かし方

2学年のまとめりとして、5年生では、基本的な回転技と倒立技について課題解決学習を中心としてお互いに補助しあい、教え合う中で、「倒立」や「体のしめ」などの運動技能のポイントを理解し、身につけることができるようにする。6年生では、それらの技を繰り返したり組み合わせたりするポイントを見付ける学習をしながら、集団マットへとつなげたい。

(3) 運動の特性に即した活動の取り入れ方

系統性に即しながら、児童が自分の課題が分かるように、学習形態の工夫をして教え合い・学び合いがし易いようにする。また、学習資料や体育ノートを準備することで、児童に見通しを持たせ意欲を引き出したい。

4. 単元計画（2つの学年のまとめりとして）

(1) 習得を学習の中心に据えた5年生の単元計画（8時間扱い）

時間	1	2	3	4	5	6	7	8
5	オリエンテーション ・学習の進め方	用具の準備・あいさつ ○準備運動のマットセットメニュー(①バツタ跳び,②手押し車,③うさぎの足打ち,④川跳び,⑤逆さだんご虫)						
15	・学習の約束 (服装・用具の準備・後始末・きまり) ・場づくりの説明 ・準備運動の仕方 (セットメニュー) ・ふりかえりの仕方	めあての確認						
25		(1) 基本的な回転系の技で、回転するためのポイントを見付ける活動をする。						
35		(2) 基本的な倒立系の技で、倒立するためのポイントを見付ける活動をする。						
45		(3) できる回転系・倒立系の技にバランスやジャンプを加えて組み合わせる。						
45		後片付け・学習のふりかえり・あいさつ						

(2) 活用を学習の中心に据えた6年生の単元計画（8時間扱い）

時間	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
5	オリエンテーション ・学習の進め方 ・学習の約束 (服装・用具の準備・後始末・きまり) ・場づくりの説明 ・準備運動の仕方 (セットメニュー) ・ふりかえりの仕方	用具の準備・あいさつ ○準備運動のマットセットメニュー(①バツタ跳び,②手押し車,③うさぎの足打ち,④川跳び,⑤逆さだんご虫)						
15		めあての確認						集団 マッ ト発 表会
25		(1) 基本的な回転系の技で、上手に回転するポイントを見付ける活動をする。更なる発展技にも挑戦する。						
35		(2) 基本的な倒立系の技で、上手に倒立するポイントを見付ける活動をする。更なる発展技にも挑戦する。						
35		(3) 回転系・倒立系の技にバランスやジャンプを加えて組み合わせる。				集団マット		
45		後片付け・学習のふりかえり・あいさつ						

5. 指導に役立つ6年生の評価計画

時間	学習過程	学習活動における具体的評価規準 (B:概ね満足できる状況 A:十分満足と判断できる状況)		
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能
1	オリエンテーション ①学習の進め方 ②学習の約束(服装・用具の準備・後始末・きまり) ③場づくりの説明 ④準備運動の仕方(セットメニュー) ⑤学習のふりかえりの仕方	・セットメニューに関して約束やきまりを守って運動をしようとする。 A:進んで [観察・カード]		
2	①挨拶・用具準備 ②セットメニュー ③めあての確認 ④回転系の技をする ⑤倒立系の技をする ⑥組み合わせの技をする ⑦学習のふりかえりをする ⑧後始末・挨拶		・安定した前転や後転,開脚前転,開脚後転ができるようにするために,技のポイントについて教え合いながら練習しようとする。 A:積極的に [観察・ノート]	
3	①～③は第2時と同じ ④回転系の技をする ⑤倒立系の技をする ⑥組み合わせの技をする ⑦⑧は第2時と同じ		・壁倒立や側方倒立回転等の技のポイントについて教え合いながら練習しようとする。A:積極的に [観察・ノート]	
4	①～③は第2時と同じ ④回転系の技をする ⑤倒立系の技をする ⑥組み合わせの技をする ⑦⑧は第2時と同じ			・安定した壁倒立や補助倒立,側方倒立回転ができる。A:大きな動作で [観察]
5 (本時)	①～③は第2時と同じ ④組み合わせの技をする ⑤組み合わせの技を発表する ⑥学習のふりかえりをする ⑦後始末・挨拶		・できる技を繰り返したり組み合わせたりするための,技やつなぎ方のポイントについて考えながら練習しようとする。 A:積極的に [観察・ノート]	
6	①～③は第2時と同じ ④回転系の技をする ⑤倒立系の技をする ⑥集団マットをする ⑦⑧は第2時と同じ		・技の組み合わせや構成の良いところを賞賛している。 A:具体的に [発言内容・感想]	
7	①～③は第2時と同じ ④回転系の技をする ⑤倒立系の技をする ⑥集団マットをする ⑦⑧は第2時と同じ			・友達の前で技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。A:大きな動作で [観察]
8	①～③は第2時と同じ ④集団マットの練習をする ⑤集団マット発表会をする ⑥学習のふりかえり・後始末・挨拶	・技の組み合わせや構成の楽しさや喜びを味わおうとする。 A:積極的に [観察]		
努力を要する状況に対する支援の手立て		・励ましたり,賞賛したりしながら学習に取り組ませる。	・できる段階にフィードバックさせながら指導する。	・補助する。 ・学習資料を見せる。 ・課題の易しい場にする。

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

側方倒立回転と他の技をつなぐための課題を解決するように練習の仕方を工夫している。

[思考・判断]

(2) 展開 (5時間目/8時間目中)

段階	学習活動	時間	指導上の留意点 (○) 研究に関わる手立て (◎) 評価規準 (☆) 評価方法 (*)	用具資料
導入	<p>1 挨拶・場づくりをする。</p> <p>2 基礎的な感覚と動きを身につけるために、準備運動で以下の5つの運動を行う。</p> <p>(1)マットセットメニュー [場1]</p> <p>①バッタ跳び</p> <p>②じゃんけん手押し車</p> <p>③うさぎの足打ち</p> <p>④川跳び</p> <p>⑤逆さだんご虫</p>	8	<p>○挨拶したら、すぐに場づくりをさせる。 *観察</p> <p>○マットセットメニューの5つの動きをグループごとに①～⑤の順に協力しながらできるようにする。</p> <p>○特に、川跳びや逆さだんご虫ができない児童へ配慮しながら補助する。</p> <p>○腰が上がっていたり、身体が真っ直ぐになったりしている児童を短い言葉で褒める。</p>	<p>マット</p> <p>CD BGM</p>
展開	<p>3 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>側方倒立回転と他の技を上手につなぐポイントを見つけよう。</p> </div> <p>4 グループで側方倒立回転と他の技をつなぐ練習する。[場1]</p> <p>5 各グループでみつけた側方倒立回転と他の技のつなぎ方を発表する。</p>	30	<p>◎学習課題は、側方倒立回転と他の技をつなぐためのポイントを見付けることを確認する。</p> <p>◎側方倒立回転と他の技をつなぐには、何を取り入れたらよいか、話し合わせながらグループで工夫して練習を行なわせる。 *観察</p> <p>◎それぞれのグループ内で互いに技やつなぎ方を見合いながら学習する中で、自分たちが良いと思うつなぎ方を見付ける。 *観察</p> <p>○側方倒立回転+できる技+バランス・ジャンプの構造を示して児童が戸惑わないようにする。</p> <p>○自分たちが考えたつなぎ方を発表させ、賞賛されることで技を繰り返したり組み合わせたりする楽しさを味わわせたい。</p> <p>☆側方倒立回転と他の技をつなぐためのポイントを見つけている。(思考・判断)</p>	<p>目シート 足型シート</p> <p>学習資料</p> <p>平ゴム+鈴</p> <p>観察うちわ</p>
終末	<p>6 整理運動</p> <p>7 学習の成果を自己評価するために、学習をふり返る。</p> <p>8 後片付け・挨拶をする。</p>	7	<p>○簡単なストレッチをさせ、体の回復を促す。</p> <p>○側方倒立回転と他の技のつなぎ方やできばえについて相互評価させ、自己評価をより確かなものにさせる。 *記述</p> <p>○安全面に注意させながら、協力して素早く後片付けをして、挨拶をさせる。</p>	<p>体育ノート 筆記用具</p>

(3) 場の設定

場1
マットセットメニュー・グループ学習

